

TOWN INTEGRAL

NTT R&D FORUM 2024

BUSINESS
β 01-08

コネクテッドカーの無線評価シミュレータ

シミュレータによる評価を活用し、協調型自動運転
ユースケースの早期実現に貢献します

#顧客体験価値向上

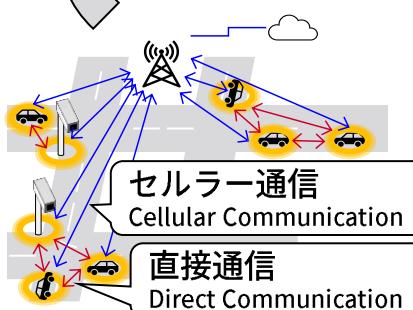
仮想空間による街レベルでのセルラー通信性能評価 City-Level Cellular Communication Performance Evaluation Using Virtual Space



街レベルでの評価が可能
Enable City-Level Evaluation

直接通信との比較評価が可能
Comparative evaluation with Direct Communication is possible

迅速な仮説検証とフィードバックにより
コネクテッドカー社会構想の具現化を加速
Accelerating the Realization of a Connected Car Society
through Rapid Hypothesis Testing and Feedback



事故低減 Accident Reduction	渋滞回避 Traffic Avoidance
----------------------------	---------------------------



セルラー通信を活用したコネクテッドカー社会構想 Connected Car Society Concept of Utilizing Cellular Communication

///技術課題

協調型自動運転において多数の車を対象とする場合、
無線区間の通信について実機による検証は困難です。

///研究目標

シミュレータによる知見から、協調型自動運転における
ユースケースをセルラー通信で実現することで、
交通事故低減や渋滞削減を実現します。

---要素技術

- セルラー通信で用いる基地局情報について、ドコモの有するデータを活用
- 交通流シミュレータと伝搬シミュレータの連携
- 直接通信とセルラー通信方式に対応

---適用ビジネス

交通社会において、シミュレータによる知見を、安全運転支援や協調型自動運転支援に適用

---市中技術差異点

- 実際の基地局データを活用することで、現実に近い環境での評価が可能
- 交通流シミュレータにより車両の移動を加味する事で、現実に近い街レベルでの評価が可能
- 直接通信とセルラー通信を異なる通信方式で評価した場合に対して、同一環境下で評価することで正確な比較検討が可能